



編集・発行

アカデミア・コンソーシアムふくしま事務局

〒960-1296 福島市金谷川1番地
福島大学 地域連携課内

電話 024-548-5295

メール acf@adb.fukushima-u.ac.jp

URL http://u-renkei.net.fukushima-u.ac.jp

「復興型コンソーシアム」の 新しい展開を目指して

 アカデミア・コンソーシアムふくしま
 理事長 福島大学長 入野 修

「100年の計は人を植えるにある」は中国の諺である。福島県の将来は、人を育てる事業の成否にかかっているとと言っても過言ではありません。アカデミア・コンソーシアムふくしま(ACF)は、あらゆる分野で著しいグローバル化の進展する知識基盤社会に対して適応できる人材を育成するために、県内の高等教育機関が連携協力することでより効率的に人材育成を進展させることを設立趣意に発足し、これまで、平成21～23年度に文部科学省補助事業「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」を、県内高等教育機関が地方自治体と産業界等の協力を得て各種の教育事業を展開して、かなりの成果を上げました。

今回、大震災と原発災害に遭遇し、設立趣意と会員機関の事情・意向を再考し、新たな活動方針として「復興型コンソーシアム」の構築を目指すことを理事会(平成24年3月2日)で決定し、これまで築いてきた教育研究の連携協力体制をより発展させることにしました。この度、平成24年度大学改革推進事業『ふくしまの未来を拓く「強い人材」づくり共同教育プログラム』に採択されました。したがって、ACFとしては、将来の地域産業・地方自治体等の専門職業人として活躍できる「課題探究・解決力」「情報発信力」「つなぎ・導く力」を有する強い人材の育成に特化したモデル的教育プログラムを推進することになります。各機関のそれぞれの強みを活かした教職協働も含めた連携協力体制で、各種の教育プログラムに自主参画し、同時に教育の質の保証を図ることを目指します。この目的を達成するには、これまで以上の密接な連携協力体制が不可欠です。これまで通りの自治体や経済界との緊密な連携体制を継続し、各機関の個性と特徴を十分に発揮して、ACFの社会的使命を果たすことができるよう、さらに一歩進んだ共同教育プログラム推進への連携とご協力をお願いします。

大学間連携共同教育推進事業

◆ 体制整備のご協力への御礼

12月1日、大学間連携共同教育推進事業(「強い人材」共同教育事業と略称)における3人目の研究員を雇用し、事務局も本格的にスタートしました。ACF理事長、副理事長のもと、事業推進会議における調整、企画運営委員会での実施計画案等の検討を行いながら、皆さまのご了解とご協力を得て、進めて参りたいと思います。復興過程にありたいへんな状況ですが、これをプラスに変換して、地域の未来を担う「強い人材」を育成していきましょう。ご協力をよろしくお願いいたします。

◆ 今年度予算の適切な執行と 次年度予算の編成についてのお願い

本補助金の執行については、「事業の趣旨に合致するものか」ということが求められています。

「趣旨に合致するか否か」について難しい判断が必要になることもあり、各校様においては、ご不便を感じることも多々あるかと思いますが、何卒ご協力をお願いいたします。

また、次年度の予算編成についても別途お願いすることになりますが、最終的な目標はやはり「強い人材」づくりとなります。

各校様にそのためのお知恵を拝借できればと思いますので、こちらも併せてお願いいたします。

福島県内大学等への風評被害対策事業

◆ 高校生・保護者に対する アンケート調査について

本調査は、震災や原発事故が、高校生と保護者が進路を選択する上でどのように影響したかを検証すべく実施しました。

結果をみると、大震災後の原子力発電所事故につい

ては高校生も保護者も心配な気持ちを抱いており、適切な対応が望まれます。一方で、高校生の多くは自分の専門的素養を深めるよう進路を見据えた選択を志向していることがうかがえました。

保護者は生徒に比べ、放射線への関心は強いようですが、子どもの進学については「子どもの意思を尊重する」という回答が多く見受けられます。高校生たちは場所によらず、自分たちの学びたいこと、やりたいことのできる大学を目指す傾向が強いようです。

この調査結果をふまえながら、次の事業に取り組んでまいりたいと思います。引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

事務局からお知らせ

◆ **事務局が新体制となりました**

文部科学省の大学間連携共同教育推進事業として「ふくしまの未来を拓く『強い人材』づくり共同教育プログラム」が採択されたことを受け、12月1日までに福島大学内のアカデミア・コンソーシアムふくしま事務局に、4名のスタッフが新たに加わりました。ご紹介する機会がなかったこれまでの事務局のスタッフと併せて、ご紹介いたします。

≪ 凡例 ≫

①：主な職務内容 / ②：出身地



副学長（地域連携）
小沢 喜仁
① 事業推進会議 議長
② 山梨県甲府市



経済経営学類 教授
清水 修二
① 企画運営委員長
② 東京都



地域連携課 課長
大和田 雄司
① 事務局の統括



地域連携課 主査
安齋 仁
① 各外部機関との連絡調整
② 二本松市



地域連携課 研究員
岩本 正寛
① 主に、大学間連携共同教育推進事業の企画・事業推進
② 宮城県仙台市



地域連携課 研究員
片倉 育子
① 主に、大学間連携共同教育推進事業の企画・事業推進
② 福島市



地域連携課 研究員
高森 智嗣
① 主に、大学間連携共同教育推進事業の企画・事業推進
② 熊本県



地域連携課 研究員
川口 晶子
① 福島県内大学等への風評被害対策事業の推進
② 兵庫県姫路市



地域連携課 研究員
安齋 悠史
① 福島県内大学等への風評被害対策事業の推進
② 川俣町



地域連携課 研究員
佐藤 亮介
① 福島県内大学等への風評被害対策事業の推進
② 福島市



地域連携課 事務補佐員
高橋 雅子
① 主に、大学間連携共同教育推進事業の事務補佐
② 福島市



地域連携課 事務補佐員
只野 恵美子
① 主に、大学間連携共同教育推進事業の事務補佐
② 南相馬市

次号は2月1日（金）の発行予定です。